

## 秋のイベントが 開催されました

10月から11月上旬までの間、市内では様々なイベントが催され、多くの人にぎわいました。



10月13日  
おおさと夏まつり 第2章



10月18日・19日  
妻沼聖天山秋季例大祭付祭行事



10月20日・21日 SATOYAMA&SATOUMI  
with ニャオざねまつり in 熊谷



10月21日  
埼玉スカイスポーツフェスタ2018



10月28日  
第12回こうなん祭り



10月27日  
リサイクルフェア



11月4日  
第17回オ・ドーレなおざね



11月4日  
熊谷えびす大商業祭(稚児行列)



### 真新しいスタジアムでの初試合

10月20日、改修を終えた熊谷ラグビー場での初の試合となる、ジャパンラグビートップリーグ・パナソニックワイルドナイツ対キャノンイーグルスの試合が行われました。臨場感あふれる新生スタジアムでの試合に、観客も大声援を送っていました。



### 星川を彩るイルミネーション♪

11月3日から1月14日までウェルカムイルミネーションin星川が点灯しています。熊谷駅前通りの星川広場から、若者広場までの約500メートル、星川に幻想的な空間が広がります。

# d design travel WORKSHOP KUMAGAYA⑥

埼玉県熊谷市の観光を、デザインの視点で考えます。

6月の市報と共に配布された『ディ・デザイントラベルワークショップクマガヤ』号をご覧いただけただろうか?お手元にはない方は、熊谷市観光協会にお問い合わせいただきたい。この冊子は24人の市民ライターが市民編集部となり書き上げた一冊だ。編集の考え方は、【・必ず自費でまず利用すること。実際に泊まり、食事し、買って、確かめること。・感動しないものは取り上げないこと。本音で、自分の言葉で書くこと。・問題があっても、素晴らしければ、問題を指摘しながら薦めること。・取材相手の原稿チェックは、事実確認だけにとどめること。・ロングライフデザインの視点で、長く続くものだけを取り上げること。・写真撮影は特殊レンズを使って誇張しない。ありのままを撮ること。・取り上げた場所や人とは、発刊後も継続的に交流を持つこと。】。今回は「その土地らしいカフェ」として、取り上げられた4つを紹介させていただきます。①アキモトコーヒーロースターズ②慈げん③カフェ・ド・リッチ④ワイズカフェの4店舗。どのお店も、編集の考え方に沿った名店だ。ぜひ、熊谷号を手に取り、これらがどのように紹介されたか?読んでみてほしい。同時に、熊谷という土地の個性について一人でも多くの方々と共に考えていただきたいと思う。



アキモトコーヒーロースターズ



慈げん



カフェ・ド・リッチ



ワイズカフェ

◆(一社)熊谷市観光協会 ☎048-594-6677  
(熊谷号を希望される方はご連絡ください。)



## 総務大臣表彰を受賞しました

10月10日、中澤公子さんは、行政相談委員業務に尽力しているとして、総務大臣表彰(行政相談功労)を受賞しました。中澤さんは、平成19年に総務大臣から行政相談委員に委嘱され、11年間、市民の皆様と行政のパイプ役として、各種の相談の解決を図っています。



## 個人優勝と団体準優勝の快挙を報告

10月24日、第7回高齢者交通安全自転車大会に、熊谷警察署の代表として出場した本市交通指導員4名が市長を表敬訪問し、個人優勝と団体での準優勝という快挙を報告しました。

# 読んで当てよう!! 市報クイズ

### 今月の問題

〇〇に入る言葉をお答えください。  
「平成30年熊谷市交通安全スローガン」は?  
「〇〇〇〇」 ゆずる心も 交通ルール

### アンケート

- Q1 今月号市報の感想をお書きください。
- Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。
- Q3 ラグビーに関する質問があればお書きください。

### 応募方法

ハガキまたはEメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題とアンケートの回答を記入し、12月21日(金)までにご応募ください(一人につき一通)。  
※回答がないものは無効となります。  
《応募先》〒360-8601  
宮町二丁目47番地1 熊谷市広報広聴課  
☎kohokocho@city.kumagaya.lg.jp  
※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

### 今月のプレゼント

Un Ours Valee(アンウルスヴァリ)の、クリーム・キャラメルとクリーム・ショコラのプリン2個セットを、10人にご提供します!



【店舗情報】  
Un Ours Valee(アンウルスヴァリ)  
所在地: 籠原南3-446-2  
定休日: 火曜日(不定休あり)  
営業時間: 10:00 ~ 18:00  
電話: 048-594-6563

### 10月号の正解 グライダー

◆応募総数65通中、正解65通

※市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは広報広聴課☎内線206まで。

情熱世代

## 夢追い人

「出会いを大切に重ねていきたい」

田代 友紀さん  
(熊谷女子高校出身)  
俳優・影絵つかい

## 美術大学への進学

2人の兄がいて未っ子の私は、幼い頃から人を楽しませることが大好きでした。熊女卒業後、当初は普通の大学に進学予定でしたが、受験勉強の中で、自分の好きなものは美術の周りにありそう...ということに気づきました。美大受験に切り

替えたのは試験のたった3か月前。準備期間は決して十分ではありませんでしたが、無事に合格した時は「美大が私を呼んでくれたんだ。」と、とてもうれしかったことを覚えています。

出会いがつかない  
「影絵つかい」から  
「俳優」への道

転機は大学3年生の時です。大学の先輩から誘われた影絵劇のワークショップで、現在も一緒に仕事をしている脚本・演出家の方と出会い、その後「影絵つかい」としての活動の他に、「俳優」として少しずつ舞台に出演するようになりました。大学卒業の頃には、今回出演した映画「菊とギロチン」のオーディションを勧められ、無事に役を頂くことができました。撮影の時、一人の役者として自分を認めてもらえることは恐れ多くも、光栄な経験でした。

俳優の仕事に限らず、つい自分と人を比べてしまう時、苦しくなることがあります。でも、「人と比べても仕方ない。だって皆違うのだから。」と、共演したの方が教えてくれました。演技の間は、自分にエネルギーが乗る感じがします。人の笑顔につながる仕事を、これからも続けていきたいです。振り返ると、運とチャンスが巡り合って今の私があると実感します。今もし自分の夢が分からず負い目を感じる人がいたら、素直に自分の興味に目を向けてみてください。好きなものの選択の繰り返しでたどり着く場所がきっとあります。私も、自分の選択の先にある、未来の出会いを大切に重ねていきたいと思っています。

自分らしく、  
好きなものを選んでいく

影絵上演中の田代さん(中央)

## 元トップリーガー木川 隼吾のラグビーオモロ話

## 第17回「寮生活」

今回は、私が体験した寮生活のお話をします。多くの大学のラグビー部は寮生活をしています。私の所属した大学は約100人の部員がラグビー部専用の寮に入り、6畳ほどの1部屋に学年が異なる2~3人で生活していました。家具を置き、布団を敷くと足の踏み場もないような状態であり、原則、部屋の施錠もしないため、プライベートはありません。ただ、悪いプレーをしてしまった時、普通なら落ち込んでしまう場合でも常に誰かが一緒にいるので、落ち込む暇がないメリットもあります。お酒を飲ん

だ後も肩を組んで寮に帰り、一緒に風呂に入る等、良い思い出もたくさんあります。

また、食事当番である1年生の時は、1回の食事で200合の白米を炊き、200匹の魚を焼く等、様々な大量の料理を作りました。その経験で私の料理の腕も少し上達した気がします。

そのように楽しい寮生活ですが、「戻りたいか?」と聞かれると「大男だらけの寮生活には戻りたくない。」というのが私の本音かもしれません。

## ラグビー何でも相談室

ラグビーワールドカップ2019推進室  
木川 隼吾

Q 楕円球のラグビーボールは扱いにくいのですか?

A 完全な球体でないため不規則なバウンドをします。しかし、空中にあるボールがどちらに転がるか分かる時があり、その瞬間はボールに強い親近感を抱いていました。個人的には、投げる、蹴る等は楕円球の方が扱いやすいと思います。



◆ラグビーワールドカップ2019推進室 ㊟内線341

## 人口と世帯

平成30年11月1日現在(対前月比)

■人口 197,825人(-31) 男 98,827人(-11) 女 98,998人(-20) ■世帯 86,372(+49)

「市報くまがや」12月号は、73,800部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。